

様式1

令和元年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	神子原農林水産物加工販売施設	所在地	羽咋市神子原町は190番地
指定管理者	株式会社 神子の里		
管理者住所	石川県羽咋市神子原町は190番地	選定方法	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
指定管理料	0千円(令和元年度決算額)		
評価担当課	農林水産課		
年度重点目標	農業機械の機能向上による神子原米の品質向上を図り、特選米としてブランド価値を高めることに加え、神子原米を使用したお酒の販売にも取り組み、今後もここに来ないと買えない商品を増やし売上拡大を目指す。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	聞き取り	現在8名＋社長
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	聞き取り	HACCPに準じた食品衛生管理研修の実施
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	聞き取り	第三者への再委託はしていない。
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	整理整頓・トイレの清掃、除草も適正に行われている。
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	聞き取り	不具合が見られたときは、業者に連絡し、早急に対応している。
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	適正に管理されている。
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	聞き取り	ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを活用し情報を提供している。新聞等プレスリリースも行っている。
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	事例はない。
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	書類	ハガキと店頭用紙を使用したお客様アンケートを実施している。
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	聞き取り	迅速に対応している。スタッフや出品者への周知も行っている。
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	聞き取り	避難訓練は2月に実施予定
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	A	聞き取り	生産物賠償責任保険(PL保険)に加入済み

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか。	A	A	聞き取り	適正に管理されている。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	聞き取り	税理士に委託し、月1回以上のチェックを受け、適正な経理処理が行われている。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	聞き取り	客数は昨年度同時期の数字と同様であるが、売上は伸びている。理由としては、純米大吟醸酒「神子」の販売やコロッケ等の加工品の売上が好調であったことによると考えられる。
		定められた料金を適正に收受しているか。(直近3年間平均と比較)	—	S	書類	適正に收受している。
7	施設利用状況	直近3年間平均と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	聞き取り	差異はない。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	半年に一度、モニタリング時に事業報告を実施している。
9	アンケート調査意見及び対応	①神子の里の雰囲気や野菜が新鮮であることが高評価につながっている。 ②スタッフの接客についての評価が高い。 ③リピーターが多い。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	①施設設備に関して、定期的に点検する等、適切な維持管理に努める。 ②地域の要望を取り入れながら活性化につながる展開を図り、さらなる売上拡大に努める。 ③加工所を有効活用し、加工品の種類を増やすことにより売上拡大に努める。				
11	今後の管理方針	機械の機能向上により神子原木の品質向上が図られ、ブランド価値が高まる中でこれまで以上に広報にも力を入れ売上につなげる。併せて、これまでも取り組んできた加工品開発について、お酒や地元産品を使用した商品の種類を充実させ、地域の拠点となるような取組を行いながら売上の拡大を図り、安定した管理に努める。				
総合評価	中間評価		年間評価		平成30年度	平成29年度
	A		A		A	A